

令和元年度 事業報告書

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

令和元年度 事業報告目次

総括

受託事業及び実施事業について

- 別紙Ⅰ 障害者就労促進チャレンジ事業
- 別紙Ⅱ 精神障害者等向け実践能力取得訓練コースの委託先機関開拓業務
- 別紙Ⅲ 令和元年度実績表
- 別紙Ⅳ 制度施策部会 事業報告
- 別紙Ⅴ 研修部会 事業報告
- 別紙Ⅵ 広報部会 事業報告
- 別紙Ⅶ 特別部会 事業報告
- 別紙Ⅷ 特別支援学校との連携におけるワーキンググループ事業報告
- 別紙Ⅸ 役員 部会 事務局構成
- 別紙Ⅹ 加盟センター 一覧表

総括

平成から新元号『令和』となった2019年度は、多くの試練に直面した一年となりました。規格外の暴風・豪雨をもたらした台風が次々と日本列島を襲い、全国では多くの犠牲者が出ました。これまで比較的災害が少ないとされていた千葉県においても、甚大な被害が発生しました。特に9月に上陸した台風15号では、これまでに経験したことが無いような暴風に見舞われ、多くの家屋・事業所が損壊・倒壊し、更には長期に及ぶ大停電に直面しました。そして記憶に新しい新型コロナウイルス感染拡大。まさに激動の一年であったと言えます。

障害者就業・生活支援センターの事業においても新たな一步を歩みだした年でした。全国50のセンターを対象として、「生活困窮者のうち障害が窺われる方」への支援を想定した支援員が配置されました。それぞれのセンターでは既に生活困窮者への支援を実施していましたが、今回の取組により支援機関間の連絡が必要になり、現時点で生活困窮者を支援するネットワークに我々が参画出来ていないということに気づかされました。障害者就業・生活支援センターの今後の在り方を考えるうえで、個々の支援ではなく「仕組み」としてどのように機能するべきかを検証・検討することが必要だということが確認出来たのではと考えます。

また、連絡協議会では昨年度設けた特別部会を中心に、行政機関における障害者雇用、障害者雇用をビジネスモデルとして展開する企業、またそのような仕組みを活用する企業への対応を検討してまいりました。

千葉県では、教育庁における障害者雇用率未達成が顕著であり、連絡協議会として今後の雇用のあり方について意見してきた結果、令和2年度には県庁内および総合教育センター内において、複数名の障害者をチームとして雇用することとなりました。

障害者雇用ビジネスに関しては、制度施策部会でアンケートを実施し、県内16センターの状況確認を行い、これらをどのように捉えているかを調査しました。この調査結果を全国就業支援ネットワークを通じて全国の多くの支援機関に情報発信したところ、障害者就業・生活支援センターの各ブロック大会や、他県のネットワークなどで多くの反響がありました。また、1月に千葉で開催された「障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための全国フォーラム」において問題提起したことにより、千葉県での検討課題であったこの問題が全国規模で検討・検証されるきっかけになりました。

「令和元年度第2回 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡調整会議」ではこの問題を更に検証し、「障害者雇用の進むべき道」について考える予定でした。しかしながら、1月に日本において感染が確認された「新型コロナウイルス」の感染拡大により、連絡調整会議の中止を余儀なくされました。以降、3月末日まで、各センターにおいては感染拡大防止の取組みに忙殺されました。

今回の新型コロナウイルス感染拡大の影響は、我々が支援する障害者・企業にとどまらず、全世界規模でこれまでの日常を一変させたと言えます。誰もが経験したことが無い状況におかれ、新たなことに対処していくという大きな試練を与えられたと思います。そのようななか、我々支援者には何が求められ、何が出来るのかを真剣に考える機会になりました。

東京オリンピックが2021年に延期になりましたが、私は延期ではないと感じています。2020-2021の2年間でいかにこの困難に立ち向かい開催するか、2年かけて取り組む課題となったのではと考えます。我々障害者就業・生活支援センターを含む障害者雇用・就労支援も令和元年を単年として捉えるのではなく、2年越しの挑戦として考えてみるのが良いのではないのでしょうか。令和2年1月に大きなターニングポイント迎え、2月、3月と対応・情報収集に奔走してまいりましたが、今となっては令和2年度に向けた序章だったのではと感じます。

新たな障害者雇用のあり方、本当に必要な支援のあり方について、先入観にとられず今一度検証するべきではと問いかけられた一年。そして、いざという時のつながりを今以上に大切にすることの重要性を教えてくれた一年であったのではないのでしょうか。

I 受託事業について

I-1 障害者就労促進チャレンジ事業

受託先 千葉県商工労働部産業人材課

受託期間 平成31年4月12日（金）～令和2年3月31日（火）

詳細 （別紙Ⅰ）平成31年度障害者就労促進チャレンジ事業報告書参照

I-2 精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務

受託先 千葉県商工労働部産業人材課

受託期間 平成31年4月22日（月）～令和2年3月31日（火）

詳細 （別紙Ⅱ）平成31年度精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務完了報告書参照

II 実施事業について

II-1 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会総会

参加数 16センター

開催日 令和元年5月24日（金） 会場：ハロー貸会議室千葉駅前

内容 平成30年度事業報告及び平成31年度事業計画について

II-2 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会定例会

参加数 16センター

開催日 第1回定例会 令和元年 7月16日（火） 会場：SMBC グリーンサービス

臨時定例会 令和元年 8月23日（金） 会場：加瀬の会議室千葉中央ホール

※第2回については9月17日に予定していたが台風被害の影響により中止

第3回定例会 令和元年11月19日（火） 会場：ふる里学舎本千葉

第4回定例会 令和2年 1月21日（火） 会場：ふる里学舎本千葉

※第5回については3月17日に予定していたがコロナウイルス感染防止の為に中止

内容 協議会運営に関する協議及び情報共有の場として2か月に1度を目安に実施した。

障害者雇用に関する情報交換及び行政や外部団体の新規事業説明等を行うことにより、情報共有を図った。

II-3 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会幹事会

参加数 会長1名 副会長2名 各部会代表3名 事務局2名

開催日 第1回幹事会 令和元年 5月 7日（火） 会場：ふる里学舎本千葉

第2回幹事会 令和元年 7月 2日（火） 会場：ふる里学舎本千葉

第3回幹事会 令和元年 9月 3日（火） 会場：ふる里学舎本千葉

第4回幹事会 令和元年11月 5日（火） 会場：ふる里学舎本千葉

第5回幹事会 令和2年 1月 7日（火） 会場：ふる里学舎本千葉

第6回幹事会 令和2年 3月 3日(火) 会場: キャリアセンター
内 容 主に定例会前に開催。定例会の協議事項などの確認および喫緊の課題等を協議。

II-4 連絡調整会議

①第1回連絡調整会議

参加数 16センター

開催日 令和元年8月23日(金) 会場: 加瀬の会議室千葉中央ホール

参加団体

千葉労働局、千葉県健康福祉部障害福祉事業課、千葉県商工労働部産業人材課、
千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課、千葉県総務部総務課、
高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部、千葉障害者職業センター、
千葉県特例子会社連絡会、千葉県発達障害者支援センターCAS、
千葉県立障害者高等技術専門校、千葉県就労継続支援事業A型連絡協議会、
千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

内 容 部会活動報告、意見・情報交換、パネルディスカッション

テ ー マ 『就労定着支援事業の現状と課題について』

進 行 ふる里学舎地域生活支援センター 松橋達也

発 表 LITALICO ワークス船橋 長谷川太一氏

あかね園 松尾公平

いちされん 西村拓士

② 第2回連絡調整会議

令和2年3月6日(金)で開催予定をしていたがコロナウイルス感染予防のため中止

II-5 各種会議体への参加、研修会等への講師派遣(別紙Ⅲ)

- ① 千葉県総合支援協議会本部会委員
- ② 千葉県総合支援協議会就労支援専門部会
- ③ 千葉県総合支援協議会権利擁護専門部会委員
- ④ 千葉県総合支援協議会精神障害者地域移行推進専門部会
- ⑤ 千葉県障害者施策推進協議会委員
- ⑥ 千葉県障害者就労事業振興センター理事
- ⑦ 千葉県特別支援教育研究推進会議
- ⑧ 千葉県発達障害者支援地域協議会
- ⑨ 千葉県若者自立支援ネットワーク協議会
- ⑩ 平成31年度障害者雇用サポート事業への協力
- ⑪ 若年性認知症対策総合推進事業への協力

II-6 関係機関との連絡調整

- ① 千葉労働局～雇用安定等事業、福祉・教育・医療から雇用への移行推進事業に関すること
- ② 千葉県商工労働部産業人材課～障害者就労促進チャレンジ事業、企業支援員事業、笑顔いっぱいフレンドリーオフィス事業、精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務に関すること
- ③ 千葉県健康福祉部障害福祉事業課～生活支援等事業に関すること
- ④ 千葉県総務部総務課～チャレンジドオフィスちばに関すること
- ⑤ 千葉県立障害者高等技術専門校～委託訓練事業、連絡会への出席及び連携に関すること
- ⑥ 千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課～特別支援学校進路指導主事、就労支援コーディネーター連絡協議会への出席及び連携に関すること
- ⑦ 千葉県教育庁教育振興部教職員課～県立高等学校、県立教育機関における障害者雇用に関すること
- ⑧ 千葉県精神保健福祉センター～精神障害者の支援に関すること
- ⑨ 千葉障害者職業センター～年2回の意見・情報交換会への出席及び連携に関すること
- ⑩ 千葉県特例子会社連絡会～年2回の意見・情報交換会への出席及び連携に関すること
- ⑪ パソナ・千葉～千葉県障害者雇用サポート事業
- ⑫ 千葉県就労継続支援事業A型連絡協議会～意見・情報交換会への出席及び連携に関すること
- ⑬ 千葉県健康福祉部高齢者福祉課～若年性認知症に関する就労支援に関すること
- ⑭ 千葉県障害者就労事業振興センター～障害者の自立に関すること
- ⑮ 千葉県商工労働部経済政策課～千葉のちから「中小企業・小規模企業表彰」に関すること

II-7 部会活動（別紙の部会事業報告参照）

- ① 制度施策部会（別紙Ⅳ）
- ② 研修部会（別紙Ⅴ）
- ③ 広報部会（別紙Ⅵ）
- ④ 特別部会（別紙Ⅶ）

II-8 ワーキンググループ活動

千葉県内特別支援学校就労支援コーディネーター幹事校等と、在学中の支援や定着支援の在り方、情報共有について等年4回意見交換を行った。次年度以降も引き続きワーキンググループとして活動していく。

詳細については（別紙Ⅷ 特別支援学校との連携に関するワーキンググループの報告書）を参照

II-9 添付資料

- ① 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 役員・部会構成（別紙Ⅸ）
- ② 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 加盟センター名一覧（別紙Ⅹ）

平成31年度 障害者就労促進チャレンジ事業 事業報告書

平成31年度は、企業向け見学会を5回、法定雇用率未達成企業相談会を8回、障害者向け見学会を3回開催し、短期職場実習80件を実施することを目標とした。千葉労働局の協力のもと、各ハローワークから法定雇用率未達成企業等への案内文送付の協力を頂けたこと、千葉労働局が実施する「0人雇用企業支援」と3圏域でタイアップし、共催という形で実施したことなどもあり、対象企業からの反応は良かった。しかし年度の後半になり、新型コロナウイルス流行の影響によって企業相談会3回を開催中止とせざるを得なくなり、結果的に目標値を下回ることとなってしまった。

具体的な開催状況については別紙【平成31年度障害者就労促進チャレンジ事業実施状況】参照。

I 企業等の理解促進

・企業向け見学会

5圏域で開催し、障害者雇用において先駆的な取り組みをしている企業や今後雇用が伸びていくと思われる業種で障害をお持ちの方が活躍している企業を見学し、全体で47企業、11機関、81名が参加され、最終的に9社が障害者雇用を実施している。

・法定雇用率未達成企業相談会

5圏域で開催し実際に障害者雇用をした際のイメージがつきやすいよう、障害者雇用を行っている企業やハローワークでの勉強会等で支援機関との意見・情報交換などを行い、29企業、11機関、34名が参加され、最終的に4社が障害者雇用を実施している。

印旛圏域、市原圏域、夷隅圏域で開催企画をしており、すでに申し込み企業が多数あったものの、残念ながら開催中止となり、大幅に目標数値を下回ることとなってしまった。

II 障害のある人等の意識改革

今年度は3圏域で開催し、計41名の障害当事者、保護者、支援者等が参加し、企業見学・企業担当者や障害当事者との意見交換・参加者間の情報交換等を行った。

この見学会を経て今まで就業は難しいだろうと考えていた障害当事者やその周りの方が、就業に目を向ける良いきっかけになり、15名の方が就労に至っている。

III 短期職場実習

企業支援員と協力しながら、実習企業の開拓を行った。令和3年3月に法定雇用率が改正されることも受けて、実習を受け入れる企業側の意識も高かった。

今年度も各センター概ね5回、全体で80回、基本的に1回あたりの実習日数を5日程度として、事業実施を行い、問題なく取り組めた。

結果としては129回延べ633日の実習を行うことが出来、さらに実習をきっかけに就職された方は78名となっている。

平成31年度精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務
業務完了報告書

千葉県知事 鈴木 栄治 様

住所 千葉県千葉市美浜区新港43

氏名 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会
会長 藤尾 健二

平成31年度精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務委託
契約書第13条により、下記のとおり報告します。

記

1 事業実施結果

(1) 実践能力習得訓練コースの受託企業の開拓（詳細別紙実績報告書のとおり）

① 訪問企業数	40件
② ①のうち実践能力習得訓練コースを新たに受託した企業数	16件
③ 上記②の企業が実施した延訓練定員	7人
④ 訪問先企業を選定するにあたって参考とした情報等 精神障害者の雇用経験が豊富な企業（笑顔いっぱいフレンドリーオフィス認定企業を中心に）、またハローワークと連携しながら、経験はあまりなくても会社全体で積極的に受け入れていこうとしている企業などを訪問し、受託の依頼をしている。	

(2) 訓練内容や訓練カリキュラム等のコーディネート

① 訓練内容や訓練カリキュラムをコーディネートした企業数	29件
（具体的なコーディネート内容） 新たに訓練先として認定された企業において、実際に訓練が活用されるよう障害者高等技術専門校と連携し、訓練カリキュラム設定等のコーディネートを行った。	

(3) 実践能力習得訓練コースの受託企業に対する事務手続き等の支援

① 事務手続き等の支援をした企業数	19件
（具体的な支援内容） 障害者高等技術専門校と連携し、電話もしくは必要に応じて企業を訪問するなどして、企業の事務負担軽減を図った。	

(4) その他訓練受託企業に対する助言・支援

企業に対して、訓練当事者の障害特性や仕事の適性などを伝え、スムーズに訓練を行えるようにしたり、訓練開始後に企業・当事者双方からもう少し訓練をしたいということで期間を変更するなど柔軟な対応を図るなどした。障害者高等技術専門校コーディネーターなどと連携しながら適宜企業訪問し、不安なことがあった場合に気軽に連絡できるような関係を築くことで、戸惑いや不安は取り除くことが出来た。	
--	--

別紙Ⅲ

令和元年度

4月	5月	6月	7月	ナカボンスタッフ研修
1 月	1 水	1 土	1 月	
2 火	2 木	2 日	2 火	協議会幹事会・研修部会
3 水	3 金	3 月	3 水	
4 木	4 土	4 火	4 木	
5 金	5 日	5 水	5 金	
6 土	6 月	6 木	6 土	特別支援学校就労支援ネットワーク連絡会プロジェクトチーム会議
7 日	7 火	7 金	7 日	協議会幹事会
8 月	8 水	8 土	8 月	
9 火	9 木	9 日	9 火	
10 水	10 金	10 月	10 水	
11 木	11 土	11 火	11 木	
12 金	12 日	12 水	12 金	
13 土	13 月	13 木	13 土	
14 日	14 火	14 金	14 日	
15 月	15 水	15 土	15 月	
16 火	16 木	16 日	16 火	協議会定例会
17 水	17 金	17 月	17 水	
18 木	18 土	18 火	18 木	
19 金	19 日	19 水	19 金	第1回特例子会社連絡会(藤尾会長他14名)
20 土	20 月	20 木	20 土	第1回雇用移行推進連絡会議(松橋)
21 日	21 火	21 金	21 日	
22 月	22 水	22 土	22 月	
23 火	23 木	23 日	23 火	
24 水	24 金	24 月	24 水	
25 木	25 土	25 火	25 木	
26 金	26 日	26 水	26 金	第1回千葉労働局との連絡会議・第1回研修部スタッフ研修
27 土	27 月	27 木	27 土	
28 日	28 火	28 金	28 日	
29 月	29 水	29 土	29 月	
30 火	30 木	30 日	30 火	
	31 金		31 水	教育庁事務長研修(藤尾会長)

8月		9月		10月		11月	
1	木	1	日	1	火	1	金
2	金	2	月	2	水	2	土
3	土	3	火	3	木	3	日
4	日	4	水	4	金	4	月
5	月	5	木	5	土	5	火
6	火	6	金	6	日	6	水
7	水	7	土	7	月	7	木
8	木	8	日	8	火	8	金
9	金	9	月	9	水	9	土
10	土	10	火	10	木	10	日
11	日	11	水	11	金	11	月
12	月	12	木	12	土	12	火
13	火	13	金	13	日	13	水
14	水	14	土	14	月	14	木
15	木	15	日	15	火	15	金
16	金	16	月	16	水	16	土
17	土	17	火	17	木	17	日
18	日	18	水	18	金	18	月
19	月	19	木	19	土	19	火
20	火	20	金	20	日	20	水
21	水	21	土	21	月	21	木
22	木	22	日	22	火	22	金
23	金	23	月	23	水	23	土
24	土	24	火	24	木	24	日
25	日	25	水	25	金	25	月
26	月	26	木	26	土	26	火
27	火	27	金	27	日	27	水
28	水	28	土	28	月	28	木
29	木	29	日	29	火	29	金
30	金	30	月	30	水	30	土
31	土			31	木		

協議会幹事会

協議会幹事会

南関東ブロック会議(東京)

松戸圏域企業向け見学会、長生圏域企業向け見学会

特別支援学校就労支援コーナーセミナー連絡会

印旛圏域未達成企業相談会・香取圏域障害者向け見学会

N-1グランプリ(大阪府高槻市)(西村・柄澤)

日本印刷所連合会主催「印刷文化・産業交流セミナー」(西村・松澤)

広報部会

海匝圏域企業相談会

協議会定例会

千葉県施策推進協議会

市川圏域企業相談会

君津圏域企業相談会

安房圏域障害者向け見学会

教育庁との意見交換(勝尾専長、社内副専長、古川副専長、本野)

千葉圏域企業向け見学会、野田圏域障害者向け見学会

12月	1月	2月	3月	
1 日	1 水	1 土	1 日	
2 月	2 木	2 日	2 月	
3 火	3 金	3 月	3 火	協議会幹事会
4 水	4 土	4 火	4 水	
5 木	5 日	5 水	5 木	
6 金	6 月	6 木	6 金	
7 土	7 火	7 金	7 土	
8 日	8 水	8 土	8 日	
9 月	9 木	9 日	9 月	
10 火	10 金	10 月	10 火	
11 水	11 土	11 火	11 水	
12 木	12 日	12 水	12 木	
13 金	13 月	13 木	13 金	千葉県労働局長表彰・千葉県労務局長表彰・千葉県労務局長表彰
14 土	14 火	14 金	14 土	
15 日	15 水	15 土	15 日	
16 月	16 木	16 日	16 月	
17 火	17 金	17 月	17 火	毎日新聞山田氏打ち合わせ
18 水	18 土	18 火	18 水	
19 木	19 日	19 水	19 木	
20 金	20 月	20 木	20 金	習志野圏域企業向け見学会
21 土	21 火	21 金	21 土	研修部会スタッフ研修
22 日	22 水	22 土	22 日	
23 月	23 木	23 日	23 月	
24 火	24 金	24 月	24 火	
25 水	25 土	25 火	25 水	特別部会
26 木	26 日	26 水	26 木	
27 金	27 月	27 木	27 金	
28 土	28 火	28 金	28 土	
29 日	29 水	29 土	29 日	
30 月	30 木		30 月	船橋圏域企業向け見学会
31 火	31 金		31 火	なかぼつ全国フォーラム・広報紙発刊

令和元年度 制度施策部会事業報告

I. 総括

年度当初、事業評価に関する追跡調査を実施する計画でいたが、事業評価の実施が一旦停止となった為、改めてテーマを確認し、各センターが非常に興味を抱いていた『障害者雇用ビジネスとの関係』に関し調査等を進める事となった。併せて『他県ナカポツセンターの取り組みの視察』に関しても調査等を進め、他県ナカポツの研修に参加、発表するに至った。

また同年度、特別部会も『障害者雇用ビジネスとの関係』で調査等を行う事となった為、調査に関する面を制度施策部会が、それらを提言等する事を特別部会が行う事となり、棲み分けをしながら適時対応し、一年間活動が出来たと考える。

一方でスピーディーに事を進める事を重視した為、今年度の部会開催は一度しか実施出来ずに終わってしまった事は大きな反省である。

II. 活動内容

- ・ 『障害者雇用ビジネス』に関するネットアンケートの実施(16センター用・全国用の2回)。
- ・ 特別部会に参加、連携して『障害者雇用ビジネス』に関し調査等を行う。
- ・ 地域の連携の調査の為、『N-1 グランプリ』に参加。

III. 部会開催状況

コアメンバー会議 7月9日実施

内容：今年度内容、目的、実施方法、スケジュールに関し調整

第1回会議 8月21日実施

内容：アンケート内容、目的、実施方法に関し調整

以降メール等でのやりとりを中心に活動

※特別部会参加 11月11日、2月25日

令和元年度 研修部会事業報告

I. 総括

障害者の就労支援に携わる支援者の育成を推進する事を目的として令和元年度は研修会を2回開催した。第1回研修はNPO法人長生夷隅地域のくらしを支える会の澁澤理事長を講師としてお招きし、中核地域生活支援センターの現状や支援の在り方について幅広く学んだ。第2回研修においては『定着支援について考える』をテーマとし、千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会の藤尾会長、辻内副会長、古川副会長の鼎談を聞きながら、定着支援の歴史や支援内容、方法について学んだ。第1回・第2回ともに講義を聞いて終わるのではなく、グループワークによる気づきの共有や課題の検討等を併せて実施することで参加型の研修とすることが出来た。研修成果について、参加者の就業支援の経験年数によって学びの形や大きさはそれぞれであったと考えられるが、実施後のアンケートによると、各回において学びによる満足度が得られたことは間違いない。また、アンケート結果ではセンター間での交流や初任者や中堅、ベテランの枠を超えた意見交換を行なえた事が大変有意義であったという声も引き続き多く寄せられており、本研修が人材育成のみならず、千葉県内障害者就業・生活支援センターの連携強化にもつながったのではないかと考察出来る。

次年度においても引き続き参加者の満足を得られるように、専門領域、それに隣接する領域に拘らず、その時々に必要な内容をテーマとして臨機応変に企画をすることが研修部会として肝要であると考えます。

II. 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会研修事業（年2回開催）詳細

研修会名『令和元年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 第1回スタッフ研修』

- ① 開催日時 令和元年7月26日（金）13時30分～16時30分
- ② 会場 千葉商工会議所第1ホール
- ③ 対象 連絡協議会会員（各障害者就業・生活支援センター職員）
- ④ 参加人数 障害者就業・生活支援センター職員55名
- ⑤ 研修内容 ◆講演 「生活支援の実際について

～中核地域生活支援センターの取り組みから～

（講師）NPO法人長生夷隅地域のくらしを支える会
理事長 澁澤 茂 氏

◆グループ討議

研修会名『令和元年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 第2回スタッフ研修』

- ① 開催日時 令和2年2月21日（金）13時30分～16時40分
- ② 会場 千葉中央ホール（加瀬の会議室）大ホール
- ③ 対象 連絡協議会会員（各障害者就業・生活支援センター職員）
- ④ 参加人数 障害者就業・生活支援センター職員48名

- ⑤ 研修内容 ◆定着支援について考える～鼎談～
(鼎談者) 障害者就業・生活支援センター連絡協議会
会長 藤尾 健二氏 副会長 辻内 理章氏・古川 亮氏
◆グループ討議

Ⅲ. 県外視察研修への派遣

研修会名 全国就業支援ネットワーク第21回定例研究・研修会

- ① 開催日時 令和元年6月14日(金)～15日(土)
② 会 場 秋田キャッスルホテル
④ 参 加 障害者就業・生活支援センター連絡協議会 事務局 松橋達也氏
⑤ 研修内容 社会の動きについて学ぶ(SDG'sについて)等

Ⅳ. 部会開催状況

第1回 令和元年5月24日(金)

- ① 場 所 ジョナサン千葉中央駅前店
② 内 容 第1回連絡協議会スタッフ研修会の打ち合わせ

第2回 令和元年7月16日(火)

- ① 場 所 きぼーる1階アトリウム
② 内 容 第1回連絡協議会スタッフ研修の打ち合わせ

第3回 令和元年11月19日(火)

- ① 場 所 ふる里学舎本千葉
② 内 容 第2回連絡協議会スタッフ研修の打ち合わせ

第4回 令和2年1月21日(火)

- ① 場 所 旨いもん食堂かどや
② 内 容 第2回連絡協議会スタッフ研修の打ち合わせ

別紙VI-1

令和元年度 広報部会事業報告

I. 広報紙

令和元年度の広報紙の発刊は第18号を令和元年6月30日、第19号を令和2年1月31日に発刊。紙面構成は引き続き県内センターの紹介記事、連絡協議会の取り組み、連絡協議会部会報告、トピックス等適宜広報部会内で協議し、連絡協議会の活動の周知を広く行えるように作成を行った。広報紙は各関係機関への送付のほか、各センターでの広報活動等で活用し、連絡協議会の活動・実績など広く周知が行えた。

II. ホームページの管理

ホームページの維持・管理はTMクリエイトに委託した。内容は各センターのチャレンジ事業の開催案内や、広報紙の掲載等を主に実施した。今年度は企業相談会等の案内など合計9回の更新を行い、各種案内の周知を行った。今後も連絡協議会のPR等に結びつくように管理を行っていく。

III. パンフレットの作成

連絡協議会パンフレットは株式会社集賛舎に依頼し前年度の使用部数等を考慮し4,000部作成した。定期的に各センターに対して必要部数等の調査を行ったところ、約300部の不足数が出たため、増刷分に関しては「社会福祉法人ロザリオの聖母会 ワークセンター」に依頼した。刷新は次年度も定期的に残数確認を実施し、適切に配分が行えるように調整し、必要に応じて増刷を行っていく。また増刷に関しては引き続き「社会福祉法人ロザリオの聖母会 ワークセンター」に依頼を行う。

IV. 部会の開催

平成31年	4月26日	ホームページの管理・広報紙の発刊に関して
令和 元年	6月 7日	パンフレットの残数調査・広報紙の発刊に関して
令和 元年	10月16日	広報紙の発刊に関して
令和 2年	1月10日	広報紙の発刊に関して

別紙Ⅶ

令和元年度 特別部会事業報告

Ⅰ. 総括

障害者就労や障害者雇用に関して、喫緊の課題を協議し、内外部に発信していくことを目的に活動してきた。今年度は、「障害者雇用の質」、「公的機関における就労支援の在り方」について議論を進めた。

また、制度施策部会と連携・協力してそれらについて、県内16センターと全国のセンター個々の支援者向けにアンケート調査を実施した。集約した内容を協議会の会議で報告し、まずは「千葉県の16センターから支援の足並みを揃えていくこと」を目標としてきた。

今後も制度施策部会と連携しより広範囲に調査を行い、さらに深掘りをしたうえで、関係各所に現状を知ってもらえるよう発信をしていく。

Ⅱ. 活動内容

- ・「障害者雇用ビジネス企業との関わり」についてアンケート調査を16センターへ実施。
- ・「障害者雇用ビジネスに関する考え」について、制度施策部会からアンケート調査を16センターへ実施、調査内容を精査。
- ・全国フォーラムで「障害者雇用ビジネスアンケート」に関するチラシを制度施策部会から配布し、回答のあったアンケート内容を精査。
- ・日本知的障害者福祉協会主催「相談支援・就業支援セミナー」への参加。(特別部会西村・事務局松橋が参加している。)

Ⅲ. 部会開催状況

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 第1回 | 令和元年9月13日(金) |
| 場 所 | 千葉障害者キャリアセンター |
| 内 容 | 喫緊の課題協議・エスプールの対応について・公的機関の支援状況 |
| 第2回 | 令和元年11月11日(月) |
| 場 所 | 千葉障害者キャリアセンター |
| 内 容 | 障害者雇用ビジネス企業との関わりについてアンケート調査の精査 |
| 第3回 | 令和2年1月15日(水) |
| 場 所 | 千葉障害者キャリアセンター |
| 内 容 | 制度施策部会と連携し障害者雇用ビジネスに関するアンケート作成 |

について

第4回 令和2年2月25日(金)
場 所 千葉障害者キャリアセンター
内 容 全国フォーラム・16センターの障害者雇用ビジネスに関する
アンケート調査の精査

令和元年度 特別支援学校との連携に関するワーキンググループ事業報告

I. 総括

今年度は、異動された先生方も多く、障害者就業・生活支援センターと特別支援学校の連携について再認識をする必要があった。

台風等の災害により会合自体があまりできない状況があったものの、定着支援の重要性や連携方法など各地域、圏域において意思疎通をとることができた。

各圏域において、土地柄や学校の特色などにより支援方法が違い、統一させることは難しいものの、その状況に応じた支援方法が必要であることも認識できた。

また今年度は教育庁の雇用体制、雇用推進についても意見交換することができた。

今後も障害者就業・生活支援センター内でも情報を集約するとともに、支援を円滑に進められるよう、意見交換を続けていきたい。

II. 活動内容

特別支援学校就労支援ネットワーク連絡会プロジェクトチーム会議等に参加し、千葉県内特別支援学校就労支援コーディネーター幹事校等と、在学中の支援や卒業生の定着支援の在り方、技能員や調理員の在り方等について意見交換を行った。

またプロジェクトチーム内で打ち合わせを実施し、方向性の確認を行った。

III. 活動状況

【就労支援ネットワーク連絡会プロジェクトチーム会議】 千葉県総合教育センター
・令和元年 6月 6日（木） 15：00～17：00

【就労支援コーディネーター連絡協議会】 千葉県総合教育センター

・令和元年 5月10日（金） 15：00～17：00

・令和元年 9月12日（木） 15：00～17：00

・令和元年12月 4日（木） 15：00～17：00

【ワーキンググループ打ち合わせ】 千葉障害者キャリアセンター

・令和2年 2月13日（木） 16：00～18：00

令和元年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

役員・部会・事務局構成

① 役員

役職	所属	氏名
会長	障害者就業・生活支援センター千葉障害者キャリアセンター	藤尾 健二
副会長	障害者就業・生活支援センター東総就業センター	辻内 理章
副会長	障害者就業・生活支援センタービック・ハート松戸	古川 亮
監事	千葉県知的障害者福祉協会 相談支援部会部会長	大越 将司

② 部会構成

広報部会 担当：古川副会長 部会長：近藤大介	障害者就業・生活支援センター中里	近藤 大介
	障害者就業・生活支援センターエール	杉山 布美江
	障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター	本郷 宏治
	障害者就業・生活支援センター山武プリオ	杉本 リリアーナ
	障害者就業・生活支援センターピア宮敷	鶴岡 裕太
制度施策部会 担当：國島弘 部会長：柄澤隆一	障害者就業・生活支援センターはーとふる	柄澤 隆一
	障害者就業・生活支援センター香取就業センター	岡澤 和則
	障害者就業・生活支援センタービック・ハート松戸	今井 宏美
	障害者就業・生活支援センター就職するなら明朗塾	熊谷 勇二
研修部会 担当：辻内副会長 部会長：佐藤 敦	障害者就業・生活支援センター東総就業センター	深澤 茂俊
	大久保学園障害者就業・生活支援センター	福島 美果
	障害者就業・生活支援センタービック・ハート柏	会田 宏明
	障害者就業・生活支援センター千葉障害者キャリアセンター	佐藤 敦
特別部会 担当：藤尾会長 部会長：会田宏明	障害者就業・生活支援センターいちされん	向日 宏一
	障害者就業・生活支援センター大久保学園就業・生活支援センター	西村 拓士
	障害者就業・生活支援センターいちされん	会田 宏明
	障害者就業・生活支援センター長生プリオ	西村 拓士
	障害者就業・生活支援センタービック・ハート松戸	深澤 茂俊
	障害者就業・生活支援センターピア宮敷	金親 健二
	障害者就業・生活支援センター山武プリオ	溝上 忍
	障害者就業・生活支援センターはーとふる	杉本 リリアーナ
障害者就業・生活支援センター千葉障害者キャリアセンター	田中 愛	
障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター	杉澤 紗織	
障害者就業・生活支援センター中里	本郷 宏治	
障害者就業・生活支援センター千葉障害者キャリアセンター	在 原 秀 則	

③ 特別支援学校との連携に関するワーキンググループ

	障害者就業・生活支援センターいちされん	西村 拓士
	障害者就業・生活支援センターあかね園	近藤 行介
	障害者就業・生活支援センター東総就業センター	遠藤 泰裕
	障害者就業・生活支援センタービック・ハート柏	八木原 直彦
	障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター	本郷 宏治
	障害者就業・生活支援センター中里	金木 隆裕
	障害者就業・生活支援センター千葉障害者キャリアセンター	在 原 秀 則

事務局	障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター
------------	-------------------------------

令和元年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 加盟センター一覧表

圏域	センター名	住所	電話番号
千葉	千葉障害者キャリアセンター	〒261-0002 千葉市美浜区新港43	043-204-2385
習志野	あかね園	〒275-0024 習志野市茜浜3-4-6京葉測量棟内	047-452-2718
船橋	大久保学園	〒274-0053 船橋市豊富町690-13	047-457-7380
市川	いちされん	〒272-0026 市川市東大和田1-2-10市川市分庁舎C棟内	047-300-8630
野田	はーとふる	〒278-8550 野田市鶴奉7-1野田市役所 1階	04-7124-0124
松戸	ビック・ハート松戸	〒271-0047 松戸市西馬橋幸町117 ロザール松戸109	047-343-8855
柏	ビック・ハート柏	〒277-0005 柏市柏3-6-21 柏ビル302	04-7168-3003
印旛	就職するなら明朗塾	〒285-0026 佐倉市錦木仲田町9-3	043-235-7350
市原	ふる里学舎地域生活支援センター	〒290-0265 市原市今富1110-1	0436-36-7762
君津	エール	〒292-0067 木更津市中央1-16-12サンライズ中央1階	0438-42-1201
安房	中里	〒294-0231 館山市中里291	0470-20-7188
夷隅	ピア宮敷	〒299-4504 いすみ市岬町桑田341-1	0470-87-5201
山武	山武ブリオ	〒299-3211 大網白里市細草3221-4	0475-77-6511
長生	長生ブリオ	〒297-0012 茂原市六ツ野2796-40	0475-44-4646
海匝	東総就業センター	〒289-2513 旭市野中3825	0479-60-0211
香取	香取就業センター	〒287-0101 香取市高萩1100-2	0478-79-6923